



学校だより

令和6年 2月29日
横浜市立上白根小学校
【3月号】



<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamishirane/>



表現する力

校長 小嶋 一喜

2月には、授業参観で各学年が授業で行ってきたことを発表しました。

1年生は、国語の教材「くじらぐも」の音楽劇をしました。一人ひとりが自分のセリフを、大きな声でゆっくり、はっきり言うことができ、物語に描かれている景色が浮かんできました。途中にある歌も、曲想に合わせて歌い分けることができました。最後に歌った「いつまでも友達」の歌が、なかよし1年生を象徴しているようで、涙がでました。

2年生は、「広がれ わたし」という題材で、今の自分、これまでの自分、これからの自分をスピーチにして一人ひとりが発表しました。堂々と発表する姿から、自分の成長を感じながら、これから目標とする自分になろうという強い気持ちを感じられました。「こぎつね」の歌と合奏では、強弱を生かしながら学年で心をついに合わせて演奏することができました。

3年生は、1組が国語の教材「三年とうげ」のミュージカルをしました。自分たちで振り付けを考えて、曲に合わせた動きをしていたこと、舞台の転換のときに、みんなで準備や片づけをしていたことなどから、みんなで創り上げてきたことがよく伝わってきました。2組は、2・3人組で、漫才をしました。多くの組が昔話からネタ作りをして、笑いを誘っていました。こちらも、聞いているクラスメート、学年の子どもたちが盛り上げようとする気持ちが伝わり、3年生のまとまりを強く感じました。

4年生は、1組がカレー作りをしました。今回で3回目なので、手際もよくなり、おいしそうなウインナーカレーができました。保護者にふるまっている子どもの表情に笑顔が溢れていました。2組は、自分たちで育てた小松菜の販売をしました。用意した60袋の小松菜が完売して、子どもたちの姿から、やり遂げた達成感を感じました。1組が作ったカレーに2組が育てた小松菜も入り、4年生がみんなでカレーを食べ、喜んでいました。

5年生は、春一番の強風にも負けない力強いソーラン節を踊りました。体育館では、相手に伝えたい感謝の気持ちを込めて「ありがとう」の詩の群読をしました。聞いてくださった方から「ジーンとききました。」と感想をいただきました。「ルパン三世のテーマ」の合奏は、早いテンポに合わせて迫力のある演奏になりました。最後の「いつだって」の合唱では、体育館中に美しい声が響き、あたたかい空気が溢れるすばらしい空間となりました。

(裏へ続く)